

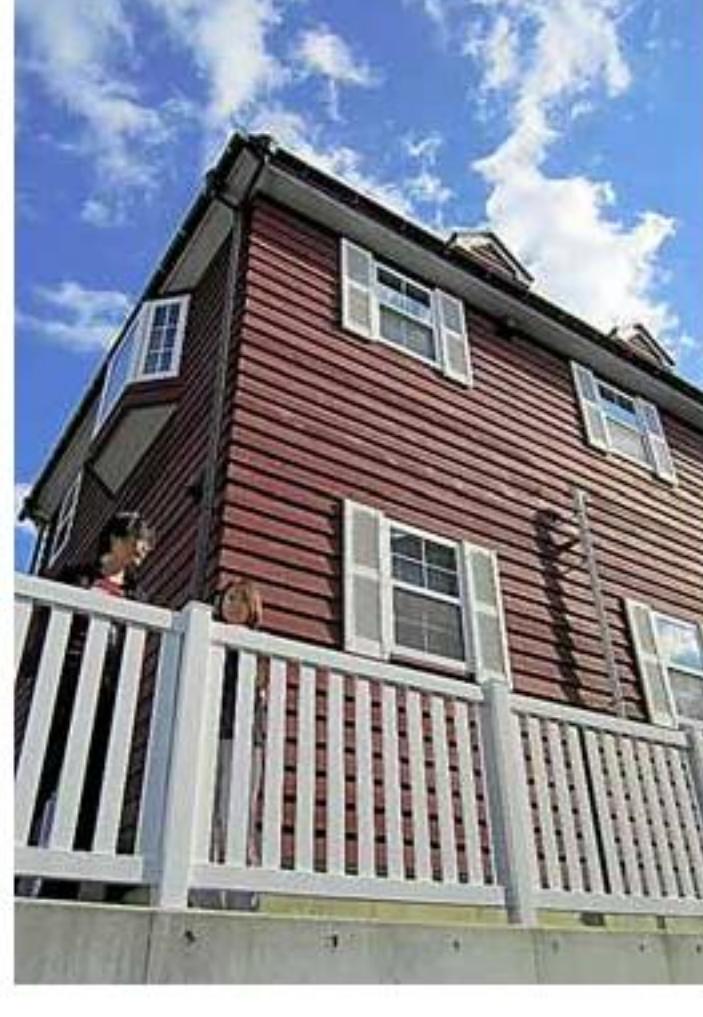
# 住まい 私記

神奈川県逗子市の住宅街に「手作り」の家がある。村野邦亮さん(33)、裕子さん(34)夫妻が会社勤めのかたわら、一から工具をそろえて完成させた本格的な一軒家だ。

「自分たちで家を建ててみたい?」と妻が提案してきたのは、賃貸暮らしを卒業したいなと思っていた3年ほど前のことでした。サポートしてくれる業者を近所で見つけ、興味を持つたというのです。基礎や外壁、屋根の施工、電気・水道関係はプロにおまかせ。あの内装な

▼白い匂いと青い空に映える自慢の外観。壁は塗料を3度塗り重ねた=写真左。2階のリビングは吹き抜けで、開放感は抜群。天井の板を張る作業は、暑さとのたたかいだった=右

## 趣味と暮らす⑫



ド」という手法です。  
最初は出来るわけがないと思  
いました。妻は小学校の工作の

いきました。妻は小学校の工作の

授業以来、のこぎりさえ握った  
ことがないと言え、私た  
つたといふのです。基礎や外壁、  
屋根の施工、電気・水道関係は  
プロにおまかせ。あの内装な

## 夫婦で週末大工 内装手作り

を1千万円近く抑えられることや、初のマイホームを手作りで生きるのが魅力でした。部材を手配してくれるし、途中で投げ出された人もいないといいます。基礎や構造は10年保証。不具合が出た際の保険も使えるとのことで、背中を押されました。

妻の実家近くに33坪の土地を購入。平日は2人とも仕事なので、土日に通いで家づくりをしました。まずは外壁材のペンキ塗り。朝から夕方まで夢中で塗り、2カ月で終えました。

次に内装。まずプロの職人さんが実演してくれます。技やコツをここで学びました。断熱材や天井板を張り、キッチンを組み立て、窓の縁をつける。作業をこなすにつれ、腕が上がつてきます。床張りを終

り、2カ月で終えました。住み始めてから1年半。不具合もなく快適そのものです。外壁、床から天井まで、すべて自分で好みの色を自分たちで塗り張りした世界でただ一つの家。愛着の強さは、誰にも負けないでしょう。実はまだ、作業が残っている部屋が一つあります。ここは将来の子ども部屋。腕をふるうのが楽しみです。

(聞き手・斎藤健一郎)  
=次回からは「味わいリフオ

ー」です。